キッチン収納

●プレーンKカップボード

取付・設置説明書

取付・設置をされる方へのお願い

■取付・設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■本体や機器に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無いように保管し、取付・設置完了後、お客様に渡してください。

1 安全上のご注意

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

注意　禁止　実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度。

- ステンレス製ワークトップを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。(切断面に触ると、ケガをする恐れがあります)
- ウォールユニットの設置は、建築壁の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行ってください。(落下してケガをする恐れがあります)

注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

- 棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。(棚板がはずれ収納物が落下してけがをする恐れがあります)
- 取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。(使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります)
- 取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使ってください。(誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります)
- 絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。(落下して、けがの原因となります)

2 施工前の確認

1. 荷物の受取り
   車上渡しとなります。また重量がある製品や荷姿の大きな製品がありますので受取りの準備をお願い致します。
   (製品の品質確保のため、搬入・搬出は必ず手運びで行ってください)

2. 部材の確認
   荷受した商品はご発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。

3. 施工現場の確認
   設備図面通りに、一次工事ができているか以下の項目について、確認してください。
   ・設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
   (水平・垂直・角度等の精度が出ていないと、仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。)
   ・窓枠や建具の位置と寸法
   ・取付木の位置及び寸法(厚さ45mm以上、幅100mm以上の強度のある硬い木材)

   製品の搬入経路の確認を行ってください。

● ウォールユニットを取り付ける取付木(厚さ45mm以上、幅100mm以上)が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。(取付木に充分なネジ保持力がないと、使用中にキャビネットが落下しケガをする恐れがあります)

3 設置手順 3-1

■ウォールユニットの取付け

1. 取付用墨出し
   仕上り床面を基準に、ウォールユニットの下端(または上端)の位置に墨出しします。

2. ウォールユニットの壁固定用下穴加工
   ウォールユニットの背板に壁固定用ねじの下穴(φ6)をあけてください。
   (右図をご参照ください)

3. ウォールユニットの棚下灯の配線用の切欠き加工(棚下灯設置の場合)
   背板の下側芯材と底板を切り欠いてください。(右図をご参照ください)

4. ウォールユニットの取付け
   ウォールユニットを取付用の墨に合わせて付属の取付ねじで壁面へ固定してください。

【壁面固定用下穴位置】
背板正面

吊戸棚取付用付属品

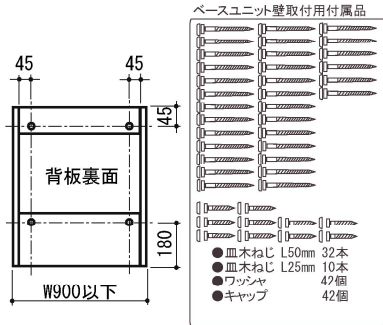
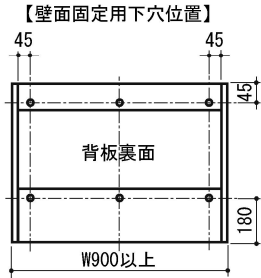
【配線用背板切り欠き加工】

3 設置手順 3-2

■ベースユニット・トールユニットの取付け

1. ベースユニット・トールユニットの壁取付用下穴加工
   ベースユニット・トールユニットの背板に壁取付用ねじの下穴(φ6)をあけてください。(右図をご参照ください)

2. ベースユニットの仮設置・ユニット同士の連結
   図面に基づき、ユニットを仮設置し、中央のユニットの両側板の連結用の下穴から付属の連結ねじで固定してください。
   ※水準器等で水平レベルを確認して連結を行ってください。

3. ベースユニットの取付け
   【セパレートタイプの場合】
   ベースユニットの水平レベルを確認して、付属の取付ねじで壁面へ固定してください。
   (配線、配管への干渉がないことを確認してから固定してください)
   【トールタイプの場合】
   トールユニット(ベース部)の水平レベルを確認して、付属の取付ねじで壁面へ固定してください。トールユニット(ウォール部)をベース部の上にのせ、付属の取付ねじで壁面と上下のユニットを連結してください。

4. ステンレス巾木の取付け
   ベースキャビネットのケコミ部分の手前に取付ける巾木を仮置きして側板の内側の位置を墨だしします。
   右図を参考に、側板内側の位置を基点にして取付金具の固定位置を墨だしして、巾木固定金具を付属ねじで固定してください。
   (隣接するキャビネットの側板にそれぞれ固定金具が共通仕様で取付いていますが一箇所の固定としてください。)

5. サイドパネルの取付け
   サイドパネルを付属のねじで取付けます。
   ※サイドパネルの厚さは12mmです。ねじの長さを確認してください。

【壁面固定用下穴位置】

【巾木固定金具取付位置】

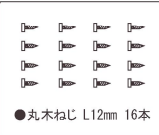
巾木固定用付属品

3 設置手順 3-3

■ワークトップの取付け

1. ワークトップの仮設置
   ベースユニットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベースユニットの左右両側の隙間が均等になるように調節してください。

2. ワークトップの取付け
   ベースユニットに仮設置したワークトップの裏面にワークトップ用の固定ねじを使用してベースユニットの内側のワークトップ固定金具から固定をします。

カウンター固定用付属品

● ステンレスワークトップの端部でケガをしないように注意してください。
● ステンレスワークトップを持ち運ぶ時は必ず立てて持ち運んでください。
(スリムエプロンのワークトップは奥行方向を平らにして両端を持つと変形の原因となります)

4 施工後の調整・確認

■施工後の調整

1. 扉・引出しの調整
   施工完了後は、扉のガタツキ、緩み、傾きがないことを確認してください。
   調整が必要な場合は取扱説明書の丁番・レール・他金物の調整方法の要領で調整をしてください。

■施工後の確認

1. 施工後のクリーニング
   ユニットや扉のホコリ・汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

2. 水廻りの取付状況の再確認
   水栓金具、排水金具が確実に取付けされていることを確認してください。

3. 機器類の試運転
   機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検『試運転』を行ってください。

● ベースユニットは、必ず壁面にねじで固定してください。
● 取付け時には引出しや扉を取り外して作業を行ってください。また引出しや扉に汚れや傷が付かないように養生をして保管してください。
● 引出しを持つ場合は必ず引出しの側板部分を持ってください。(左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります)

TSSA-09061